



み身み診より通信

原因不明の体の不調がある方はぜひ膠原病内科へ

滝川市立病院

内科 医長 にながわ 蛭川 慶太



7月より市立病院に赴任しました蛭川慶太です。医師13年目になり、北海道大学大学院（免疫・代謝内科学教室）で博士号を取得後、帯広厚生病院、斗南病院で膠原病診療に携わってきました。

滝川は祖母と父の出身地でもあり、以前からいつかこの地域で働きたいと考えていました。このたび地域医療に携わる機会をいただき、大変うれしく思っています。

私の専門は、関節リウマチや全身性エリテマトーデス（SLE）、全身性強皮症、皮膚筋炎、シェーグレン症候群など、免疫の異常によって起こる「膠原病」です。膠原病は耳慣れない病名が多いかもしれませんが、関節リウマチは約100人に1人がかかるとされる比較的身近な病気です。

膠原病では、関節の腫れや痛みのほか、長引く発熱、けん怠感、皮疹、息切れなど、さまざまな症状が現れます。肺や腎臓、心臓などの臓器に障害をきたすこともあり、進行すると生命に関わる場合もあります。

しかし、初期症状が風邪や加齢による不調と似ていることも多く、診断が遅れてしまうことが少なくありません。気になる症状が続く場合は、早めに医療機関を受診していただくことが大切です。

近年は治療も大きく進歩しました。以前はステロイドや従来型の抗リウマチ薬メトトレキサートが治療の中心でしたが、生物学的製剤や分子標的薬など新しい薬剤が次々と登場し、多くの患者さんの病気を良好にコントロールできるようになっています。早期診断・早期治療によって、これまでどおりの生活を送れる方も増えています。

市立病院では、私を含め膠原病を専門とする医師が診療にあたり、北海道大学病院からも専門医が来て週2回診療を行っています。診断から治療まで専門性の高い医療を提供できる体制を整え、札幌市内の基幹病院と同様の治療薬も使用可能です。関節の痛みや腫れ、原因不明の発熱や皮疹など、気になる症状がありましたら、お気軽に市立病院内科へご相談ください。

たきかわら版

9月の各種
無料相談日

▶行政相談

24日(休)
くらし支援課
☎ 28-8012

▶物忘れ・認知症 相談（要予約）

14日(月)
10時～12時
地域包括支援
センター
☎ 28-8029

9月の「みんなのタキカワ」

FMG'sky (77.9MHz)
毎週金曜日 12時15分～12時30分
(再放送 同日18時～18時15分)

4日 広報ひろい読み

11日 美術自然史館特別展「林檎の夢～ふたりの画家 英遠と万寿三」

18日 B & G あそりバに遊びに行こう！

25日 はじめまして！滝川市役所1年生

問
くらし支援課
Tel 28-8013



汚れている物、毛布やカーテン、和服類、下着類など回収できないものがあります。詳しくは市公式ホームページをご確認いただくか、くらし支援課までお問い合わせください。



市公式ホームページはこちらから▶

古着・古繊維の拠点回収

滝川市では、ごみの減量化とリサイクル率向上およびごみ処理費用の節減を目的に古着・古繊維の拠点回収を行っています。

回収した古着・古繊維は、東南アジアに輸出等することで再利用されています。

◆拠点回収場所◆

市役所3階くらし支援課・江部乙支所

「一みの豆知識」

編集後記

◆コスモスマラソンが開催されます（P13）。過去にランニングしよう！と靴やウェアをそろえるも3日坊主でほぼ新品。日々努力を続け出場する皆さんに敬意を表し取材したいと思います。◆子どもの頃に食べたことのある給食を目にし、味の記憶とともに、当時の思い出もよみがえってきました。中でも給食の「おかわりじゃんけん」がとても懐かしく、思わず童心に返りました。◆B & G あそりバの夏休みイベントは楽しい企画が盛りだくさんで、子どもたちでにぎわっていました。笑顔で楽しく遊んでいる姿を見ると、ついたくさん写真を撮ってしまいます。す

リンク集

災害情報のほかイベント情報や行政情報を発信



市LINE
公式アカウント



Hokkaido
ebooks

↑WEBで

「広報たきかわ」を

↓アプリで

マチイロ



行政に関するご意見・ご提言

広報たきかわへのご意見・ご感想

